



Paper Iwate NPO

NPOのはじめの一步  
「市民がつくる  
イベント」

- 連携事例集
- 「NPO×行政」「NPO×企業」
- ユース世代に聴いてみよう
- 岩手県からのお知らせ
- 岩手県社会福祉協議会
- ボランティア・市民活動センターからのお知らせ
- 活動から生まれたもの紹介「復活の薪」



いちのせき市民活動センター  
いちのせき市民フェスタ 23  
の様子

# 「市民がつくるイベント」

start!

## いちのせき市民活動センター



いちのせき市民フェスタ 23

広く市民が参加して作り上げているイベントを紹介。実施体制やどのような方が参加しているかを含めてお伝えします。



8月27日(日)、一関市の千厩アイスアリーナ及び千厩農村環境改善センターを会場に開催された「いちのせき市民フェスタ23」。一関市内で活動する市民活動団体を中心に、社会貢献活動を行う企業や行政も集い、展示、活動紹介、アトラクション等により交流を図りながら、市民主体による地域の活性化を目指すイベントです。コロナ禍でも中止することなく継続し、今年で18回目の開催となりました。

### 決起集会

イベントの約1ヶ月前、7月14日にブース出展を予定している40以上の団体が集結し、決起集会が開かれました。イベント概要・当日の出展エリアや準備について確認を行った後、出席した全ての団体から自己紹介が行われました。まちづくり、子育て、ニューツーリズム、福祉など様々な分野のNPOをはじめ、市役所の各課、企業や店舗、個人からなる飲食店や小物販売店など、多種多様な人たちが参加していることに驚くとともに、みなさんがこの市民フェスタを楽しみにしていることが伝わってきました。

初参加の

NPO法人



昨年設立したばかりの団体なのでブースでどのように活動紹介をするか検討中です。初めての参加ですが、当日を楽しみにしています。

毎年参加している

地域団体



毎回趣向を凝らして活動を伝えながら、メンバー自身も楽しむことをモットーにしています。

小物販売の事業者



来場者に自分たちのことを知ってもらう機会だと思っています。また、単純に物を売るだけでなく「ふれあい」がポイントのイベントだと感じています。

### フェスタ当日

当日は天候にも恵まれ、屋外・室内の様々なブースに、子どもから大人までたくさんの方々が訪れ賑わいました。見る、聞く、食べる、知る、体験する、全ての要素をブース出展者と来場者みんなで盛り上げて一緒に楽しんで、そんな印象を受けました。

いちのせき市民活動センターの村上駿輔さんは、「一関市内には、多様な分野で長年活動を続けている市民活動団体がある。そのような団体によって成り立っている市民フェスタだと思ふ。各団体がしっかりと来場者(市民)に魅せるブースを作り共感を得ていくことが、団体



の継続にもつながっていると「感じる」と話してくれました。伝える工夫や表現力に磨きをかけることが、活動や商品のファンを作ることに繋がりますね。これまで一関駅周辺、なのはなプラザ(大町商店街)、花泉町千厩町と会場を巡回してきた市民フェスタ。今後も市内各地区で開催し、一関市全体に市民活動を広げていきます。



“ 色々なブースがあり家族で楽しめました。いつもとは違う時間を過ごせてよかったです。 ”

(親子の来場者)

“ 市民フェスタにはアットホームな雰囲気があります。一般の方以外にも普段接点の少ない団体と交流できることがうれしいです。 ”

(出展 NPO 法人)

## いちのせき市民活動センター (NPO 法人レスパイトハウス・ハンズ運営)

一関市内のコミュニティ活動やボランティア、NPO など様々な分野で自発的な市民活動を展開する・しようとする方々を応援し、また、市民が主体となった地域づくりをサポートしています。  
※いちのせき市民フェスタの出展参加団体・ボランティア情報は、同センターのホームページにも掲載されています。

岩手県一関市大町 4-29 なのはなプラザ 4F  
TEL : 0191-26-6400  
MAIL : center-i@tempo.ocn.ne.jp  
WEB : https://www.center-i.org/



ホームページ↑

## NPO 活動交流センター こう使おう!

NPO 活動交流センターで、県内NPO 法人の各種資料を見ることができるとご存知ですか? 団体ごとにファイル分けしてあり、各法人が所轄庁に提出している定款や事業報告書・活動計算書などを紙面で見ることができます。

NPO の情報収集ができる場所の一つとして、ぜひ気軽にお立ち寄りください。



団体活動室1の入口で公開中!

気軽に情報収集!



NPO 活動交流センター  
TEL : 019-606-1760  
MAIL : n-katsu@aiina.jp



岩手県 NPO 活動交流センター サイト→

地域課題の解決や社会貢献のための様々な活動について、NPO 単独で行うのではなく、企業や行政と連携・協働することで新たな成果が生まれています。岩手県内のそんな事例をご紹介します。

事例1

一緒に同じ方向を向いて

地域の活性化へ

※カシオペアFMで2023年4月から始まった新番組「かだれ・ぱー」。番組パーソナリティの高下タカヒロさんが、二戸市内で活動する市民団体やサークルをインタ

ビュー取材し、毎週月曜日の18時から放送しています。同番組は二戸市からの委託事業の一環で行われています。2022年10月、二戸市が市の情報発信事業を見直した際



NPO × 行政

認定NPO法人  
カシオペア市民情報ネットワーク  
×  
二戸市

2023年度から市が設置する公民館がまちづくりの拠点を担うコミュニティセンターに移行することから、センターで活動する市民団体やサークルなどの取組を番組内で紹介し、センターの利用促進を図ることにしました。「コミュニティセンター」というテーマ以外はFM側が自由に企画や取材先を決めることができ、時には市内の町内会活動やイベントなども紹介しています。

新番組のため、開始当初はすべてが手探り状態でしたが、徐々にペースを掴み、夏頃から反響も届くようになりました。FMで6年の経験がある高下さんにとっても初めて出会う団体が多く、毎回新たな発見ばかりだそうです。

番組名には「つどってみれば？」という、人を誘い合う意味を込めています。話し手の声や活動の際に聞こえる音も合わせた立体的な番組づくりを心掛けており、「色々な方にごんごん出演してもらい、地域の中で誰でも色んな事ができる！」と伝えていきたい

※カシオペアFMとは

認定NPO法人カシオペア市民情報ネットワークが運営するコミュニティFMで、二戸市から岩手県北部のカシオペア連邦（二戸市、軽米町、九戸村、一戸町、旧浄法寺町）の情報を発信しています。2005年に東北地方初のNPO法人が免許人となるコミュニティ放送局として開局。様々な自主制作番組が放送されているほか、インターネットからパソコン・スマートフォン・タブレットでも聴くことができます。2021年からは、二戸市の防災システムの一環として防災ラジオの本格運用も開始しています。



と話してくれました。二戸市総合政策部公民連携推進課も「カシオペアFMの情報発信力を生かし、市民の活動を若い世代にも広げ、地域の活性化につなげてほしい」と期待を寄せています。密にコミュニケーションを取りつつ、番組の内容に係る部分は長年の経験があるNPOに任せるという信頼関係から生まれている取組、今後も楽しみです。

ユース世代に  
聴いてみよう

ユース世代の活動とインタビューをお届けします



夢団～未来へつなげる ONE TEAM～

夢団は、岩手県立釜石高等学校の生徒有志による防災活動や震災伝承を行うグループです。2019年12月に設立し、現在は1〜3年生約60名が登録し、地域の伴走者と一緒に4つの班で活動しています。

- ①ゲーム班：子どもが楽しみながら防災を学ぶ機会として、市内の小中学生が集まるイベント等で防災すごろくやカルタを実施。
- ②防災食班：「防災食」美味しくないとのイメージを払拭できるよう、防災食のアレンジレシピを考案。

事例2

仲間を増やし更なる展開を

陸前高田市で行われる三陸花火大会に合わせて、春と秋に開催される「防災マルシェ×まちキャン」は、一般社団法人マルゴト陸前高田と損害保険ジャパン株式会社岩手支店の出合いをきっかけに、マルゴト陸前高田がハブとなり、様々な企業・団

体が連携した取組です。会場になっていくワタミオーガニックランド株式会社のキャンプサイトには、損害保険ジャパンの紙食器づくり等の体験学習、盛岡日産モーター株式会社の電気自動車の仕組みを知り自分で充電したミニカーを

走らせる実験コーナー等があり、夜にはキャンプをしながら間近に花火を楽しむことができます。「防災」は難しく捉えられがちですが、関心の高い人が行おう特別なことではなく、生活の中に当たり前にあるものとして、気軽に学ぶ機会になることを意識しています。

た。この経験が次につながってほしい」と話しています。2023年10月8日に3回目となる同企画が開催されました。今後、市内外からの参加者の広がりとともに、他の企画への発展も期待されます。

NPO × 企業

一般社団法人マルゴト陸前高田  
×  
損害保険ジャパン株式会社 岩手支店  
ワタミオーガニックランド株式会社  
盛岡日産モーター株式会社



防災マルシェ × まちキャン 会場と各ブースの様子

企業にとっても、自社が持つコンテンツや商品を広める機会となり、担当者自身も楽しみながら取り組んでいます。損害保険ジャパンの平井さんは「最初はNPOの考え方や発想に戸惑い、企画を進める難しさを感じることもあった。しかし、地域の実態を熟知しているNPOと対話を重ねることで、商品やコンテンツの中にお役に立つものがあることがわかった。一度やり方を築くと、やりながら改善を重ねて内容が充実してきたので、他にも展開していきたい」と話してくれました。

マルゴト陸前高田の伊藤さんも「協働の仕組みを一緒に築き上げる、その第一歩になっ

各団体の役割分担

(一社)マルゴト陸前高田	企画の取りまとめ、三陸花火大会との連携窓口。
ワタミオーガニックランド(株)	会場となるキャンプサイトの提供と参加受付対応。
損害保険ジャパン(株)岩手支店	防災体験学習コンテンツの提供。
盛岡日産モーター(株)	電気自動車の防災時機能の紹介、おもちゃデモカー提供。

その他、これまでNTTコミュニケーションズ(株)、Snow Peak スポーツオーソリティ盛岡店、NPO法人きらりんきっずなども協力しています。

4代目の代表である小笠原桜さん(3年)は、小・中学校で防災教育を受けた経験から、高校でも防災に関わる活動をしたかと思いきや、11年生の時から参加しています。3・11の記憶がない世代も増える中で、釜石で起きたことを伝え、他の地域の防災に関心がある人たちと交わることで、様々な防災活動を知り夢団の活動も広げていきたいと話してくれました。

活動報告や告知など、Instagramで発信しています!!

Instagram



## 災害ボランティア活動に参加もお考えの方へ

被災地においては災害ボランティアによる支援活動が大きな力を発揮し、大きな期待が寄せられる一方で、被災地の人々や他のボランティアの負担や迷惑にならないよう、一人ひとりが自分自身の行動と安全に責任を持つ必要があります。お互いの思いがすれ違わないよう、ボランティア活動に参加を希望される方は、特に次の点にご留意ください。

### 正しい情報入手



被災地の状況から、一日当たりの受け入れ人数を制限している場合があります。ホームページ、Facebook、X (旧Twitter) などを通じて、最新の情報をご確認ください。



### 十分な準備

災害によって活動時に必要な服装が違いますので、十分な準備をお願いします。

水害時の参考例「水害ボランティア作業マニュアル」

### ボランティア活動保険



被災地入りする前に、最寄りの社会福祉協議会で加入してください。活動中の様々な事故によるけがや被災された方が大切にしていた飾りや置物などを、活動中に誤って壊してしまった場合などの損害賠償責任も補償します。

### 識別できる服装



各災害ボランティアセンターでは、身分証明書等の携行や所属する団体・グループ等の腕章・ビブス等をつけ、その人がボランティア活動中であることが識別できるように呼びかけていますので、ご協力ください。

### 支援物資



被災地に個人から多くの物資が送られますと、量の多さや物品の仕分けの困難さ等で、せっかくの善意がかえって被災地に大きな負担をかけることになる恐れがあります。必要とされる場合のみ送付することが大切です。

要確認

### 募金も大切な支援



募金も大切な支援の一つです。募金には、被災された方々に直接お渡しする「義援金」と、被災地を支援する団体等の活動資金として活用される「支援金」があります。

参考!

災害ボランティア関係について詳しくは、以下の各ホームページをご覧ください。

内閣府防災担当  
「内閣府防災情報のページ」



全国社会福祉協議会全国ボランティア  
市民活動振興センター  
「被災地支援・災害ボランティア情報」



中央共同募金会  
「赤い羽根共同募金」



災害ボランティア活動支援  
プロジェクト会議 (支援 P)



全国災害ボランティア支援  
団体ネットワーク (JVOAD)



お問合せ  
岩手県社会福祉協議会  
ボランティア・市民活動センター  
TEL:019-637-4483 FAX:019-637-7592



ずっぱりボランティアいわてサイト

## 認定NPO法人取得・更新情報

認定特定非営利活動法人として  
認定された法人をご紹介します!



写真は『釜石のおもちゃ図書館 プラスワン』の様子です。

### 特定非営利活動法人 Plus One Happiness

当法人の活動地域は人口が少ない地域です。人口が少ないということは、患者数が少ないということであり、その患者を対象とした事業が成立しにくいことを意味します。よって、同じ疾患を持って生まれてきた子どもたちは、その生まれた場所により受けられる支援・療育にどうしても差が出てしまいます。私たちはその『地域差』を少しでも埋めるために活動を開始しました。

現在は、気仙地区のダウン症児の親の会である『SUNNY』の活動支援や、沿岸で初となる障がい児のための『釜石のおもちゃ図書館 プラスワン』の運営を行っています。

### ＝基本情報＝

理事長 横沢 友樹  
岩手県大船渡市立根町字中野18番地55

特定非営利活動法人 Plus One Happiness サイト→



2021年10月 ..... 活動開始  
2022年 2月 3日 ..... 法人設立  
2023年 7月10日 ..... 特例認定取得

## 目指そう! 認定NPO法人

### 認定NPO法人とは

認定NPO法人は、NPO法人のうち、パブリック・サポート・テストを含む**一定の基準を満たしている**として所轄庁(都道府県・指定都市)に認定された法人を指し、税制上の優遇措置を受けることができます。

特例認定NPO法人は、設立後5年以内の法人を対象とした、認定を受けるための**スタートアップ支援としての制度**です。基準の一つであるパブリック・サポート・テストが免除されており、取得しやすくなっています。こちら**も税制上の優遇措置(一部除く)**を受けることができます。

※パブリック・サポート・テスト等認定の基準の詳細については、QRコードからご確認ください。

内閣府NPOホームページ  
認定制度→



### 認定のメリット

認定 NPO 法人への寄附者に対しては、税制上の優遇措置があるため、**寄付が集めやすくなります**。また、認定NPO法人は「公益性」や「情報公開」に関する基準を満たしている法人のため、通常の法人と比較し、**社会的信頼が増すことが期待**できます。



### 認定NPO法人制度に関する相談窓口

岩手県若者女性協働推進室 認定NPO法人専門員  
(平日 9:00 ~ 17:15)

☎ 019-629-5199

## 活動から生まれたもの 紹介

活動の中から生まれた様々な商品があります。そのストーリーや作る側の想いをご紹介します。興味が湧いたらぜひ実物を見に出かけてみてください！

## 生業の復活・森と海の循環再生への 想いを込めて 「復活の薪」

海のイメージが濃く大槌町吉里吉里は、森林資源も多い地区です。昔、海が荒れた時には森林の手入れ作業をするなど、漁業と林業がつながり、元氣な森が豊かな海を作る地域内サイクルが根付いていました。東日本大震災津波後、NPO法人吉里吉里国が設立され、ガレキ廃材を薪として再利用し、生業と雇用を復活させる活動を始めました。

現在は、地域の森林を育てる取組の中から出される間伐材で、薪の生産のほか、細い枝や木の実から木工品を製作しています。地域の「生業復活」として名付けた薪には、豊かな森を次世代に残すための「復活の薪：第二章」として、森と海の循環再生への想いが込められています。また、その生産・販売・PR活動を通して、吉里吉里や大槌町の人たちへの薪文化の伝承と、地域の環境を育む大切さを知るきっかけになることも期待されています。



お求め・お問合せはホームページから！

特定非営利活動法人  
吉里吉里国ホームページ→



2011年5月より活動。地域の環境を育む森林資源を有効に活用しながら、海の再生へとつながる循環を目指しています。

### NPO 法人 吉里吉里国

岩手県上閉伊郡大槌町吉里吉里3丁目10番6号

活動を応援したい方はこちらをご覧ください。

**S** 寄付サイト Syncable  
で吉里吉里国へ寄付→



## PIN「取材こぼれ話」掲載がスタートします！

各地の取組や連携事例を取材する中で、紙面では掲載できなかったお話や取材時のエピソード、取組のその後などを「取材こぼれ話」として、少しずつホームページでご紹介することになりました。ぜひこちらもお楽しみください。

えっ！  
そんな  
ことも？



そんな  
変化が  
あったのか！

NPO 活動交流センターホームページ  
(PIN ページ)

NPO 活動交流  
センターからの  
お知らせ

最後まで読んでいただきありがとうございます。今回は「市民がつくるイベント」を特集しました。自粛を余儀なくされた期間を経て、今年は地域行事・各種イベントも復活してきていますね。暑い夏が続く中でも「お祭りが戻ってきて嬉しい」「人が集まるとやはり活気を感じる」との声をたくさん耳にしました。

みなさまの地域にも、規模の大きさは問わず、広く市民が参加して作り上げているイベントがあると思います。ぜひ探してみてください。

新たにスタートする「取材こぼれ話」もこれから拡充していきたいと思っておりますのでお楽しみに。各コーナーでご紹介したみなさまから、その後の展開や報告があれば担当までお寄せください。お待ちしております。

(N.S)

編集後記